

足羽高校の多文化共生科における
外国人生徒と日本人生徒との協働的な学びを
支援する学校環境づくり

福井県立足羽高等学校
多文化共生科日本語コース 3年担任
岡崎普記（たかのり）

コロナ拡大以前（2019年前）の課題解決に向けた学校の取り組み

課題：私立の無償化



学校の魅力を発信する必要性

足羽高校のような公立高校でも、自分たちの特色（スポーツや国際科）をどう売りにしていくかという戦略会議が校内で開かれるようになった。



多文化共生科の構想

全国的に見ても珍しい国際科とは何か？そこで外国人生徒と日本人生徒との協働学習を目標とした学校づくりのアイデアを参照した。

外国人生徒の分析（なぜインターナショナルスクールはエリート为学校として認識され、さらになぜ公立学校などは、一般の外国人生徒を受け入れることに抵抗があるのか？）

→以下の強みを活かし、弱みを克服した新カリキュラムの形成や学校環境づくり

	足羽高校の教員が認識していた 一般の外国人生徒の強み	弱み
生活支援	①大人しい生徒が多い ②日本での学習は彼らにとっては外国であることから、目標をもち授業などには意欲的にのぞむ生徒が多い	①外国人生徒は日本の学校文化（書類の提出や校則、生徒指導など）にすぐ対応するわけではない例がままある ②文化的背景の違いから保護者と共通理解を図ることが難しい
学習支援	①英語が得意な生徒が多い	①日本語に課題がある（=テストの点数をとれないため、進級できない生徒が多い）
進路支援	①英語を武器とした進路開拓ができる ②文化的背景の違いをあえて武器にして、オリジナリティをアピールすることができる	①日本語をベースとした入試に挑戦することが難しい（入試の点数がとれない） ②金銭的な制約がある

足羽高校多文化共生科の目標（新カリキュラム設立前の構想）

- 日本人生徒や外国人生徒を問わず、いろいろな進路を選択でき、学歴や社会のしがらみから自由な生徒を育てたい
- 異文化を理解するのは難しいが、少なくとも意見の異なる者同士が集まる中で、調整し折り合いをつける構えのある生徒を育てたい
- 多様な生徒の居場所づくり→多様な授業や多様な部活動の設置
- 英語など外国人生徒の強みを活かし、「日本語ができないために支援が必要な外国人」というネガティブなイメージをなくしたい
 - 独自のカリキュラムで公立のインターナショナルスクール設立
 - 積極的な言語教育、積極的な国際交流活動の推進

令和4年度新学科・コース・専攻

		コース・専攻	
1-1	普通科 キャリア デザイン コース (99)	スポーツ専攻	
1-2		キャリア探求専攻	
1-3		進学専攻	
1-4	多文化 共生科	中国語・英語コース (30)	中国語専攻
1-4			英語専攻
1-5		日本語コース (20名程度の外国人生徒)	

多文化共生科の取り組み

- 生活支援 = 費用のかかるものと成績に関する問題を除き、担任だけで対応できるようにした。
費用のかかるものと成績に関する問題については、学年主任や通訳を介して保護者と共通理解を図る必要がある。
- 学習支援
- 進路支援

多文化共生科の取り組み

- 生活支援（お金と成績） → ポルトガル語コーディネーター
担当者を教務部に設置し、費用のかかるものと成績に関する問題については、学年主任や通訳を介して保護者と共通理解を図る必要があるが、それ以外は担任だけで対応できるようにした。
- 学習支援
- 進路支援

多文化共生科の取り組み

- 生活支援 → ポルトガル語コーディネーター
担当者を教務部に置く
 - ①合格者登校日、入学式での保護者と生徒との合同説明会
 - ②保護者会
 - ③オープンデーや中学校訪問
- 学習支援
- 進路支援

多文化共生科の取り組み

- 生活支援
- 学習支援 → 1年生は日本語、2年生から国語や社会
- 進路支援

中英（4組日本人クラス）、日本語（5組外国人クラス）カリキュラム

英語・中国語コース														
1年国際	☆現代の国語	☆言語文化	☆公共	☆数学Ⅰ	☆化学基礎	☆体育	☆保健	☆芸術Ⅰ	☆家庭基礎	☆総合英語Ⅰ	ディベートⅠ	エッセイライティングⅠ		
英語	2単位	2単位	2単位	3単位	2単位	2単位	1単位	2単位	2単位	4単位(3)	3単位(2~6)	3単位(2~6)		
1年国際	☆現代の国語	☆言語文化	☆公共	☆数学Ⅰ	☆化学基礎	☆体育	☆保健	☆芸術Ⅰ	☆家庭基礎	☆総合英語Ⅰ	基礎中国語			
中国語	2単位	2単位	2単位	3単位	2単位	2単位	1単位	2単位	2単位	4単位(3)	6単位(4~10)			
2年国際	論理国語	国語表現	☆地理総合	☆歴史総合	☆生物基礎	☆体育	☆保健	☆情報Ⅰ	総合英語Ⅱ		ディベートⅡ	エッセイライティングⅡ	数学Ⅰ	
英語	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位	1単位	2単位	4単位		3単位(2~6)	4単位(2~6)	芸術Ⅱ 2単位	
2年国際	論理国語	国語表現	☆地理総合	☆歴史総合	☆生物基礎	☆体育	☆保健	☆情報Ⅰ	総合英語Ⅱ		中国語理解	中国事情	中国語表現	
中国語	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位	1単位	2単位	4単位		3単位(3~9)	3単位(2~6)	3単位(3~6)	
3年国際	論理国語	国語表現	地理探究or日本史探究or 世界史探究 4単位(3)		☆地学基礎	☆体育	総合英語Ⅲ		ディベートⅡ		エッセイライティングⅡ		数学A	☆総合
英語	2単位	2単位			2単位	3単位	4単位		4単位(2~6)		4単位(2~6)		芸術Ⅲ 2単位	2単位
3年国際	論理国語	国語表現	地理探究or日本史探究or 世界史探究 4単位(3)		☆地学基礎	☆体育	総合英語Ⅲ		中国語理解		中国事情	中国語表現	☆総合	
中国語	2単位	2単位			2単位	3単位	4単位		4単位(3~9)		3単位(2~6)	3単位(3~6)	2単位	

日本語コース													
1年	☆科学と人間生活	☆数学Ⅰ		☆体育	☆保健	☆芸術Ⅰ	☆家庭基礎	☆総合英語Ⅰ		エッセイライティングⅠ	学設(基礎日本語)		
	2単位	3単位		2単位	1単位	2単位	2単位	4単位		2単位	10単位		
2年	☆現代の国語	☆化学基礎	☆公共	☆体育	☆保健	芸術Ⅱ	総合英語Ⅱ		エッセイライティングⅠ		学設(基礎日本語)		
	2単位	2単位	2単位	2単位	1単位	2単位	4単位		3単位(2~6)		10単位		
3年	☆言語文化	☆地理総合	☆歴史総合	☆体育	芸術Ⅲ		☆情報Ⅰ	総合英語Ⅲ		エッセイライティングⅡ		学設(基礎日本語)	
	2単位	2単位	2単位	3単位	2単位		2単位	4単位		4単位(2~6)		6単位	

多文化共生科の取り組み

- 生活支援
- 学習支援 → 1年生は日本語、2年生から国語や社会、
①取り出し授業可（T2（2人目の日本語科の教員）の設置、
T3（通訳）がポルトガル語コーディネーター）
- 進路支援

多文化共生科の取り組み

- 生活支援
- 学習支援 →
 - 1年生は日本語、2年生から国語や社会、
 - 他クラスとの合同授業
- ①取り出し授業可（T2の設置、T3がコーディネーター）
- ②中英（4組日本人クラス）と日本語（5組外国人クラス）との合同
発表クラス、標準クラス、少人数個別指導クラスの3講座展開
- 進路支援

カリキュラムの特色（日本語と英語）

1年

日本語（10）、総合英語Ⅰ（4）、エッセイライティングⅠ（2）

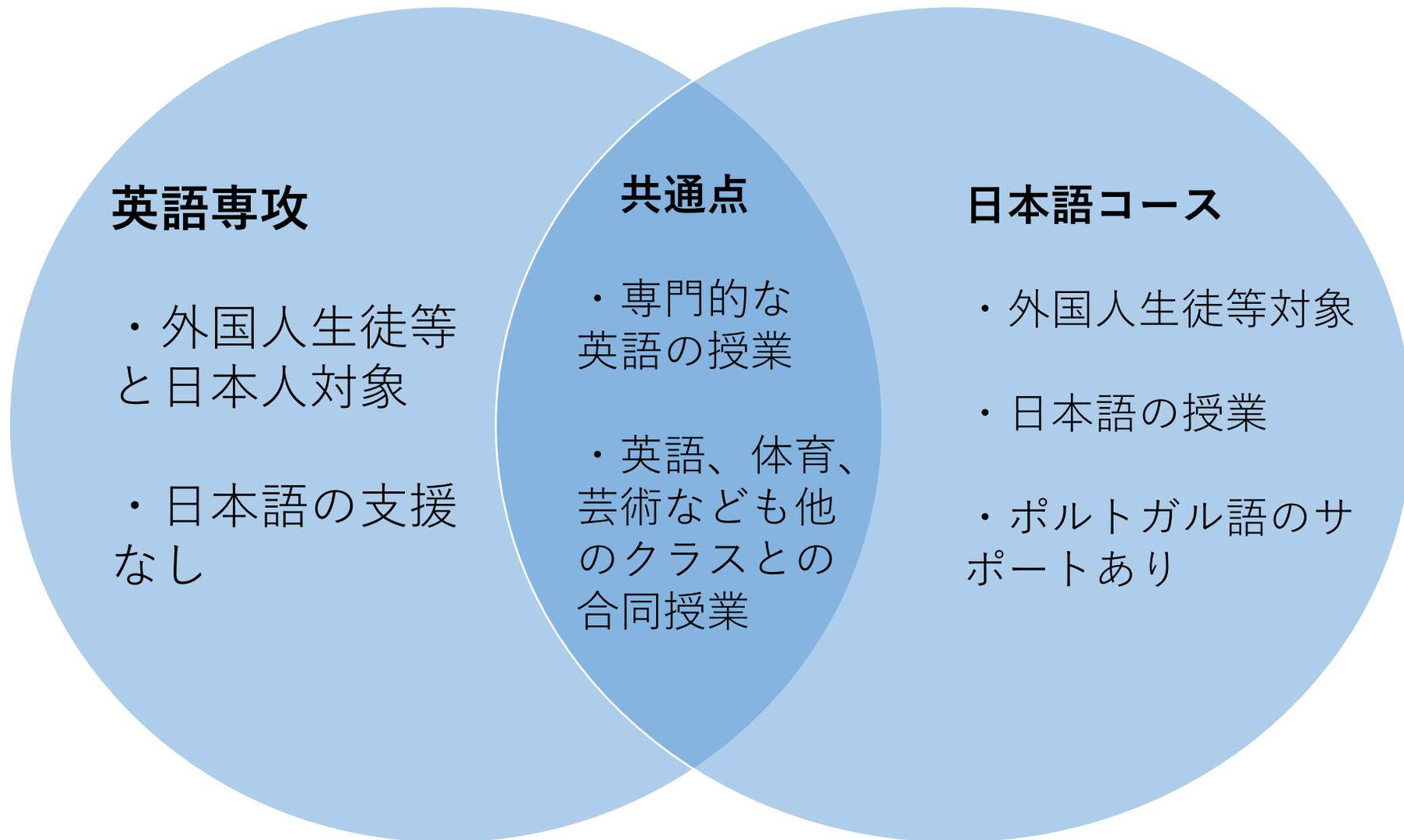
2年

日本語（10）、総合英語Ⅱ（4）、エッセイライティングⅠ（3）

3年

日本語（6）、総合英語Ⅲ（4）、エッセイライティングⅡ（4）

多文化共生科の特徴



多文化共生科の取り組み

- 生活支援
- 学習支援
- 進路支援 →
 - AIS同好会の設立（外国人と日本人との協働での国際交流活動実践）
 - 推薦入試（総合型選抜）への対策

さらに…

→ AISは外国人生徒と日本人生徒との協働での国際交流活動を企画し実践している。校内だけでなく、地域での実践にまで活動を広げたことにより、地域コミュニティの側からの支援も受けることができた。そういった支援が広がり、活動内容が多様化し続け、現在では外国人生徒や日本人生徒問わずの「居場所づくり」としての機能も部として果たしている。

多文化共生科の取り組み

- 生活支援
 - 学習支援
 - 進路支援 →
 - AIS同好会の設立（外国人と日本人との協働での国際交流活動実践）
 - 推薦入試（総合型選抜）への対策
 - 奨学金ベースのサポート
- ① 県の支援 → 看護、介護、保育分野の専門学校
 - ② 企業の支援 → 整備士
 - ③ 費用のかからない国公立や海外の大学

多文化共生科の取り組み（まとめ）

- 生活支援 → ポルトガル語コーディネーター担当者を教務部に置く
 - ①合格者登校日、入学式での保護者と生徒との合同説明会
 - ②保護者会
 - ③オープンデーや中学校訪問
- 学習支援 →
 - ・ 1年生は日本語、2年生から国語や社会、
 - ・ 他クラスとの合同授業
 - ①取り出し授業可（T2の設置、T3がコーディネーター）
 - ②中英（4組日本人クラス）と日本語（5組外国人クラス）との合同発表クラス、標準クラス、少人数個別指導クラスの3講座展開
- 進路支援 →
 - ・ AIS同好会の設立（外国人と日本人との協働での国際交流活動実践）
 - 推薦入試（総合型選抜）への対策
 - ・ 奨学金ベースのサポート
 - ①県の支援→看護、介護、保育分野の専門学校
 - ②企業の支援→整備士
 - ③費用のかからない国公立や海外の大学